

授業科目 解剖学

【担当教員名】 奈良 貴史	対象学年	1	対象学科	スポ
	開講時期	前期	必修選択	必修
	単位数	1	時間数	15

【カリキュラムポリシーとの関連性】

知識・理解	思考・判断	関心・意欲	態度	技能・表現
◎	○	○	◎	

【概要・一般目標：G10】

解剖学 I では、将来人体を対象とする職業を専攻する専門家として必要な人体の構造の基礎概念の理解とそれに必要な専門用語を理解する。特に運動器について骨学、関節・靭帯学、筋学に系統的に分け、それぞれについて名称、位置、構造、機能、ならびにそれらの相互関係を理解する。

【学習目標・行動目標：SBO】

1. 解剖学、形態学とは何かを説明できる。
2. 組織を構成する細胞の構成要素の名称と簡単な機能を概説できる。
3. 主な骨格筋の名称、位置、作用を説明できる。
4. 主な関節の名称、位置、構造を説明できる。
5. 主な筋の名称、位置、作用を説明できる。
6. 心臓の位置、各部位の名称を言える。大循環・小循環を説明できる。
7. 消化器系の諸器官、その付属器の名称、位置を説明し、その働きを概説できる。
8. 鼻腔から肺胞に至る気道を構成する器官の名称、位置を説明できる。

回数	授業計画・学習の主題	SBO 番号	学習方法・学習課題 備考・担当教員
1	解剖学序論（解剖学とは 組織学総論 細胞と四大組織）	1, 2	講義
2	骨格系（骨の構造、形態、種類）	3	講義
3	骨格系（上肢 下肢の骨）	3	講義
4	関節と靭帯（関節の種類と形態、連結）	4	講義
5	筋系 - 1（筋の構造と種類 主な骨格筋）	5	講義
6	筋系 - 2（筋の構造と種類 主な骨格筋）	5	講義
7	循環器系（心臓と主な動脈・静脈）	6	講義
8	内臓系（消化器系 呼吸器系）	7, 8	講義

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格 他>
教科書 (必ず購入する書籍)	入門人体解剖学 改訂第5版	藤田恒夫	南江堂	2012・5,000円
参考書				
その他の資料				

【評価方法】

出席状況・態度（遅刻、私語、居眠り等）、期末試験の総合評価

【履修上の留意点】

短時間で広範囲を勉強します。欠席をせず、復習を必ずすることが重要です。